

# トヨコ通信

2011年1月

ホームページ <http://www.sasada-toyoko.jp/>  
e-mail [sanba1@sasada-toyoko.jp](mailto:sanba1@sasada-toyoko.jp)

発行：日本共産党笹田トヨコ後援会  
発行日：2011年1月1日 第101号  
連絡先：大垣市室本町5-8  
日本共産党大垣市後援会  
Tel 78-6865 Fax 73-8572

部内資料

大垣市議会議員  
笹田トヨコ

新年あけましておめでとうございます

国政は政権が代わっても、ちっとも良くなっていません。それどころか医療も介護も悪くなるばかり、子育てにおいても公的保育制度を崩そうとしています。国の悪政は直接市民生活に影響し、自治体が抱えている課題は待ったなしの状態です。今年の市議会選挙では3期目に挑戦いたします。どうか、皆様のご支援よろしく願います。



あけましておめでとうございます  
皆さんの支えに感謝し、  
トヨコ通信150号に向けて歩み続けます。



## 70歳から74歳の医療費2割負担撤回を 大垣市議会で意見書採択

厚生労働省は2013年度から70歳から74歳までの高齢者医療の窓口負担を現行の1割から2割に引き上げることを決定しています。西濃社会保障推進協議会は12月定例会に対して、「撤回を求める意見書」採択の請願を行っていました。付託を受けた文教厚生委員会で、私は紹介議員として「大垣の高齢者は“垣老”になる67歳まで待ってお医者さんにかかっている。1割が2割になるということは、窓口負担が2倍にもなるということで、高齢者の中

で不安が大きく広がっている。政府が70歳から2割負担にすれば垣老にも大きく影響する」と訴えました。文教厚生委員会では3対2で可決し、議員提案として意見書が本会議に提案され賛成多数で採択されました。

## 「TPPへの参加に反対する意見書」 「米価の大暴落に歯止めをかけるための意見書」 ともに継続審査

「TPPへの参加反対の意見書」は革新懇（紹介議員笹田トヨコ）からと西美濃農協（紹介議員林新太郎、高橋滋）から請願として出され、「米価の大暴落に歯止めをかけるための請願」は農民連（紹介議員笹田トヨコ）から出され、ともに経済産業委員会で審議されました。TPPについては「日本の農業をまもることと輸出産業を守ることが相反する問題であり、コンセンサスが得られない」と継続審査にしました。「米価大暴落」の問題についても、「昔の食糧制度に戻す気か？」といった意見が飛び出し、委員全員が継続審査に賛成、本気になって日本の農業を守ることや食料自給率を引き上げ食料主権の確立を行う気があるのか大変疑問を感じた審議でした。

紹介議員である私は、再三手を挙げて発言を求めましたが、発言させず採決しました。このような委員会運営のやり方は今までで初めてのことで、他自治体では、請願を審議する場合、請願者が直接その趣旨を発言できる場が設けられています。今回のやり方は大垣市議会が議会改革において大変遅れていることを物語っています。

日本共産党

## 新春のつどい



日時：1月23日（日）  
13時30分より

場所：大垣市サイトピアセンター  
学習館2階 サイトピアホール

第一部：予定候補、後援会決意表明  
井上さとし参議院議員 講演  
第二部：餅つき、抽選会 など

連絡先：0584-78-6865（西濃地区委員会）

参議院議員  
井上さとし

お世話になっています。昨年の参院選後、党参院幹事長に就任して国対委員長と兼務し、所属委員会は法務、決算、倫理選挙となりました。昨年は、志位委員長とともに訪米し、核廃絶を求める草の根の力を改めて確信しました。民主党の「自民党返り」が進み、二大政党では政治は変わらないことが浮き彫りになった今年こそ、草の根の力と結んで政治の根本をただみましょう。地方選挙勝利、国政選の捲土重来(\*)へご一緒に力を尽くします。



\*：一度敗れたものが、再び勢いを盛り返してくること。



